

垂井町地震ハザードマップ

令和4年3月改訂

南海トラフ地震による地震動予測地図

南海トラフ地震とは
フィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を”南海トラフ”といい、概ね100年～150年の間隔で発生してきた地震が”南海トラフ地震”です。
前回の南海トラフ地震(昭和東南海地震(1944年)及び昭和南海地震(1946年))が発生してから75年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まっています。
南海トラフ地震では、岐阜県全域が震度5強以上の揺れに見舞われ、岐阜県南部を中心に多くの地域で震度6弱の揺れが予測されています。また、地震動の継続時間が長いことから、液状化判定の対象となる緩い地盤のほとんどの範囲において液状化が発生する可能性が高いと予測されます。
垂井町をはじめ県内39の地域が”南海トラフ地震防災対策推進地域指定市町村”に指定されています。

<お問い合わせ先>
〒503-2193
岐阜県不破郡垂井町宮代2957-11
垂井町役場 都市計画課
TEL 0584-22-1151(代)

